

児童生徒のために 保護者と先生方がわかりあう活動を！！

府立泉南支援学校 平成 27 年度学校協議会

平成 27 年度協議テーマ

「保護者とのより良い関係づくりについて ～保護者と教員が支えあう教育をめざして～」

第 1 回については、どうすればわかりあえるのかについての提言がいただきたい。

第 2 回については、わかりあうためには何が大切なのかについて提言をいただきたい。

第 3 回については、わかりあえる関係づくりについて提言をまとめていただきたい。

1 本人の障がいと発達そして保護者の人生

→特別な教育的ニーズ (=SEN) の理解

2 支援学校の先生方へ

わかりあう活動

◆プライド

各障がい種における専門性
→支援学校の存在意義
遂行できる唯一の教育機関

◆姿勢

本人・保護者とともに「生涯発達」の姿勢で。
ともにキャリア発達。

◆相互理解→アセスメント

“子・親から学ぶ”
「想い」のズレに注意
常に“子どもを真ん中に”

◆特に

「特別なステージ」「不安ごころ」の理解とつきあいを大切に。

正直に素直になれる気持ちを抱ける関係づくり！！

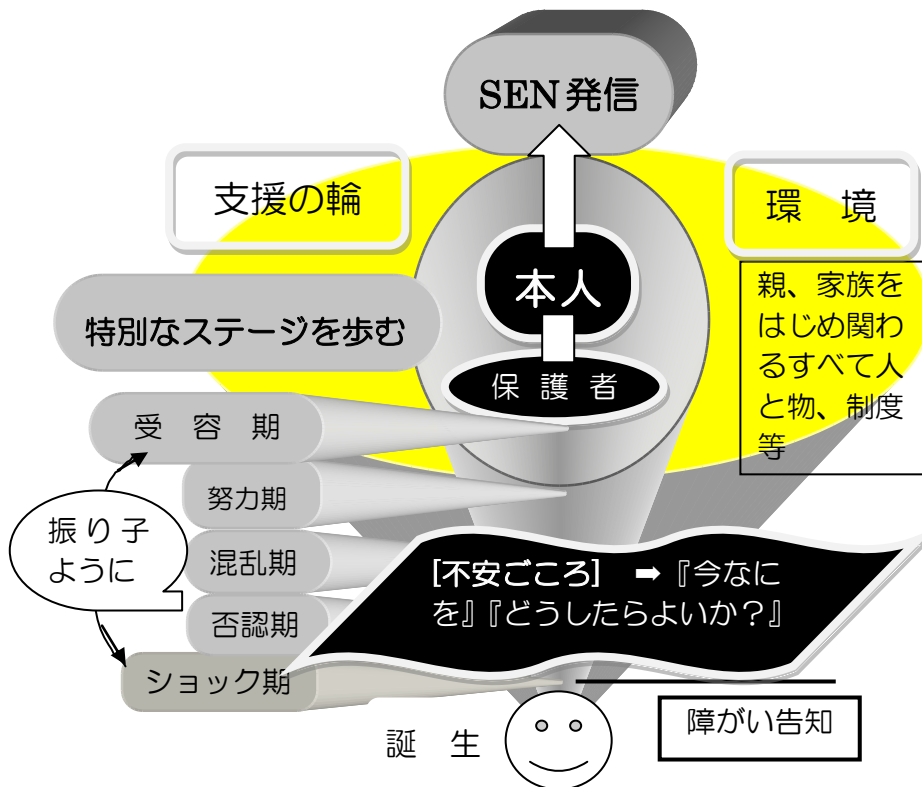
◆1+1=3 になるチーム力で

“信頼すれど信用せず”
報告・相談・連絡の徹底

→**安心を与えてください。**

→そして、わかりあう活動を経験された先生方は、どうぞ、**伝えてください。**

つなぐ活動が重要！



願いは “地域で生きる！！”

そのために [発達保障]と

生きる場の [環境整備]を！！

3 まとめ 真ん中にいる子どものために保護者と先生方が【わかりあう活動】を展開していけば、**双方からの確かな支援**が創出されていくことでしょう。期待しています。